



これからの佐野市民病院 ～ 予防医療センターの開設にあたって ～

院長 橋本 大定



私が着任して3年が経ちました。振り返り見れば、病院経営はかなり改善をみてきました。しかし、私が専門とする腹部外科の領域では、相変わらず、超進行がんの手術が大半を占めています。こんな状態が続くようだと、手術に成功はしても、患者さんに自身の天寿を全うしていただくのは難しい

早期に発見できれば、今更には、市民は自らの天寿を全うすることができるので、20%前後と全国的にみても低い佐野地区のがん検診率を、少なくとも50%以上に引き上げることが必要です。

指定管理制度の最終年度を迎えるに当たり、健康管理センターを改称し、大川智彦先生を長として予防医療センターを新設することにいたしました。

予防医療センターは、がん検診と臨床(二次精査・手術治療)とを統合し、佐野市の行政とも一体となって運営します。アメリカの大統領は壁を造るのが好きなようですが、我々は、健診センターと各臨床科(内科・外科・整形・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・小児科・皮膚科)、更には、行政との壁をも取り払い、田沼・葛生地区を手始めに、日本一のがんの検診率100%を目指したい所存ですので、市民の皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度は、大川智彦予防医療センター長が、がんの予防に関する市民講座をシリーズとして解説いたします。多数のご参加をお待ち申し上げます。

<平成29年度 佐野市民病院 市民講座>

講師 予防医療センター長 大川智彦

- 4月 これからの日本の医療と予防医学の重要性について
- 5月 人間ドックへ行こう! ～がん予防とがん検診～
- 6月 医師が がんにかかったとき
- 7月 健康寿命をのばそう ～メタボ健診と我が国の医療～
- 8月 がんに勝つために、まずがんを知る
- 9月 患者さんを惑わせる「がんもどき」理論はここが間違い
- 10月 特別講演会 がん大国 日本に住むすべての人へ
「あなたも、あなたの家族もがんで死なせてはならない」
- 11月 歴史から見た乳がん ～乳がんの基礎はがん治療の礎となっ
- 12月 がんにならない がんて絶対死なない ～一次予防と二次予
- 1月 あなたや家族ががんになったとき～医師にこれだけはしっかり聞
- 2月 健やかに生き 健やかに老いる
- 3月 わが国のがん対策

【お申込み・お問合せ】

地域医療連携室

☎0283-

62-9024(直通)



□□ 常勤医師紹介 □□



副院長
前田 哲朗 医師

日本整形外科学会専門医
AAOSアメリカ整形外科学会認定医
日本人工関節学会専門医

2012年11月、週1回の外来診療から始まり、翌年より手術も担当させていただいております。地域の皆様に温かく迎え入れていただき、徐々に診療日も増えて5年が過ぎ、本年度から常勤医師として勤務することになりました。改めて皆様に感謝いたします。

高齢化が進み、健康寿命の重要性が叫ばれています。運動疾患は、QOL(生活の質)を低下させる大きな要因です。整形外科医療は今後も益々重要性を増すことでしょう。

私の専門は、股関節、膝関節の人工関節置換術ですが、それ以外の手術も多数手がけています。当然ながら「最初に手術ありき」の姿勢ではなく、個々の患者さまの年齢、背景、また、ご自身やご家族の意向などを総合的に判断して、最も適切な治療を選択しています。

今後も地域の医療に微力ながら貢献できたら幸いです。よろしくお願いたします。

<前田医師の診療日>

毎週月曜日(午前)・水曜日(午前)・金曜日(午前) 整形外科



★★★ 世界最高レベル ★★★ プレミアム超音波診断装置を導入しています!

浅部から深部まで細く均一な超音波のビームを高密度で送受信できる技術により、均一で高精細な画像を描出することが可能です。

さらに、微細な血流を描出する技術「SMI(Superb Microvascular Imaging スーパー マイクロバスキュラー イメージング)」において、より細かな血流を感度良く描出するため、例えば、ほくろの内部の血流までも描出できます。

当院では、腹部のみならず頸部や乳腺など幅広い領域で活用しています。



【お問合せ】医事課
☎0283-62-5111

東芝メディカルシステムズ
超音波診断装置 APLIO i800 TUS-AI800



固武健二郎先生(副院長)の消化器科外来

当院では消化器外科のスペシャリスト、固武健二郎先生(栃木県立がんセンター名誉研究所長)が外来診療を担当しています。

先生は大腸を中心とする消化器疾患の豊富な診療実績があり、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本大腸肛門病学会の指導医資格を有しています。また消化器疾患に関する多数の研究業績があり、大腸癌治療ガイドラインや大腸がん登録の委員長を務めてきました。気になる腹部(おなか)の症状がある方の受診をお勧めします。

<固武医師の診療日>

毎週月曜日(午前)・木曜日(午前) 消化器科

【お問合せ】医事課

☎0283-62-5111





常勤医師紹介



予防医療センター長 大川 智彦 医師



2015年4月より予防医療センター(旧 健康管理センター)に非常勤として勤務し、本年4月1日より予防医療センター長として就任させていただきました。

私は広島県出身で大学卒業後は癌研究会病院、東京女子医科大学病院に勤務し、英国留学を含め30年以上がんの放射線腫瘍学を中心に奉職してきました。

その後、徳洲会病院グループに移り放射線診療部門長として全国の放射線診療に関わり、同時に健診センターでがん検診に携わってまいりました。佐野市民病院・予防医療センターでは今まで培ってきた経験を基にして、この地域の予防医療を通じて健康寿命の延伸と生涯現役社会実現を目指して努力してまいります。よろしくお願いいたします。

日本放射線腫瘍学会	名誉会員(理事・評議員歴任)	日本癌治療学会	会員(理事・評議員歴任)
日本乳癌学会	名誉会員(理事・評議員歴任)	日本肺癌学会	会員(理事・評議員歴任)
米国臨床腫瘍学会(ASCO)	名誉会員	米国放射線腫瘍学会(ASTRO)	会員

藤原 隆一 医師



日本内科学会	総合内科専門医	日本循環器学会	専門医
日本糖尿病学会	専門医	日本老年医学会	専門医

この度、2月16日より内科医師として着任いたしました。これまで、総合内科、循環器内科、糖尿病代謝内科、老年内科などの内科診療を中心に診療を行ってまいりました。

佐野市民のみなさまのお役に立てるよう、地域との連携のもとで最善の医療を提供できるよう努力していきたいと思っております。

ところで、日本人の死亡原因は、脳卒中や虚血性心疾患(心筋梗塞など)の循環器病とがんの割合が多くなっています。ほとんどの場合、生活習慣が原因で発症し、偏った食事、運動不足、喫煙、過度のストレスなど、好ましくない習慣や環境が積み重なると発症のリスクが高くなります。

特に、これらの病気は初期には自覚症状がほとんどないため、気づかないうちに進行し、ある日突然、狭心症や心筋梗塞、脳卒中など、命に係わる恐ろしい疾患を引き起こすことがあります。生活習慣病は“サイレントキラー”と呼ばれています。そのうえ高齢ともなれば(私もそうですが)、病気と無縁の生活は考えにくいものです。

現在では医療技術もかなりの進歩を見せており、病気=死と直結するケースは少なくなりました。とはいえ、病気にかからず健康的な暮らしを送るのに越したことはありません。

同じ病気でも、一人一人の体力や症状の重さなどの個人差が、若い方と比べて大きいことも高齢者の疾病の特徴です。このような患者さまを包括的・総合的に診療するよう心掛け、お困りの患者さま、そして地域医療のお役にたてればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

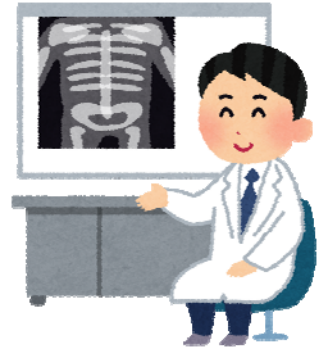
<藤原医師の診療日>
毎週火曜日・金曜日(午前) 内科



* * 市民講座のお知らせ * *

「これからの日本の医療と 予防医学の重要性について」

日時 4月24日(月) 16:00~17:00
会場 佐野市民病院 A棟5階研修室
講師 大川 智彦(当院 予防医療センター長)



「普通救命講習 I」

日時 6月17日(土) 9:00~12:00
会場 佐野市民病院 A棟5階研修室
講師 救急救命士、消防署職員
定員 20名(定員になり次第×切)

*** 受講料は無料です。**

**【お申込み・お問合せ】
地域医療連携室(直通)
☎0283-62-9024**

外来診療のご案内



＜受付時間＞ 午前8時～11時 : 午後1時～4時

＜診療科目＞ 内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／消化器外科／麻酔科／
脳神経外科／小児科／婦人科／眼科／皮膚科／泌尿器科／
耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／整形外科／放射線科／外科

＜休診日＞ 第2・4土曜日／日曜日／祝日
(* 第1・3・5土曜日は、午前中のみ診療しております)

＜診療予定＞ 事前にお電話でお問合せください。

予告なく診療予定が変更になる場合がございます。事前にお電話等でご確認をお願いいたします。また、診療の予約、キャンセル、変更は下記の時間帯にお電話をお願いいたします。

お電話での受付時間 月曜日～金曜日 午後2時～5時30分

○糖尿病・腎センター○

＜診療日＞ 月曜日～土曜日(午前・午後)
＜休診日＞ 日曜日(*祝日は診療しております)

